

第 59/61/116(家電機器), 第 72(家庭用自動制御装置)小委員会 審議結果報告書

2022 年 6 月 17 日  
一般社団法人 日本電機工業会 家電部

## 1. 担当分野

日本電機工業会 家電部が、電気用品調査委員会の国内小委員会として担当している分野を表 1 に示す。

表 1 担当分野

小委員会	IEC		名 称
	TC	SC	
59	59		家庭用及びこれに類する電気機器の性能
		A	電気食器洗機の性能
		C	加熱機器の性能
		D	家庭用電気洗濯機の性能
		F	電気掃除機の性能
		K	電子レンジ、オーブン及び類似器具の性能
		L	小形家電器具の性能
		M	家庭用電気冷蔵・冷凍機器の性能
		N	空気清浄機の性能
61	61		家庭用電気機器の安全性
		B	電子レンジの安全性
		C	電気冷蔵庫の安全性
		D	家庭用空調機器の安全性
		H	農場機具の安全性
		J	業務用掃除機
72	72		自動制御装置
116	116		電動工具の安全性

## 2. トピックス

### (1) 国内審議関連－「電気用品の技術基準」の分野

電気用品の技術基準に関する審議を行っていないため、特にございませぬ。

### (2) 国内審議関連－「日本産業規格 JIS」の分野（別表第十二採用予定 JIS 他）

前回の電気用品調査委員会での報告実施以降、JIS C 9335-2-40 : 2022 (\*) に対する追補案に関し、書面による審議を行い、IEC 規格との差を明示する様式上の修正、反映することで原案承認となりました。

(\*) JIS C 9335-2-40 家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－  
第 2-40 部：エアコンディショナ及び除湿機の個別要求事項

### 【今後の予定】

8 月 2 日 第 59/61/116 小委員会  
未 定 第 72 小委員会

(3) IEC 関連

2022 年 2 月～2022 年 5 月に回答した IEC 規格原案に対する回答状況を表 4 に示す。

表 4 IEC 規格原案の回答状況 (概要)

コメント	NP				CD		CDV				FDIS				DTR,DTS 等				Q,DC 等	
	賛成		反対		有		賛成		反対		賛成		反対		賛成		反対		有	
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無
TC59 関係 (SC59A,C,D,F,K,L,M,N 含む)	1	1			2	1	1												5	2
TC61 関係 (SC61B,C,D,H,J 含む)	1	4	1			1	8	2	1		1								27	36
TC72 関係						1	13		1			4							1	2
TC116 関係																			1	4
合計(件)	8				5		26				5								78	

【備考】 NP : New Work item Proposal, CD : Committee Draft  
 CDV : Committee Draft for Vote, FDIS : Final Draft International Standard  
 DTR : Draft Technical Report, DTS : Draft Technical Specification

【トピックス＜反対した理由 他＞】

TC/SC	番号	種別	文書タイトル／提案概要	審議概要	対応	コメント
61	6443	CDV	Household and similar electrical appliances - Safety - Part 2-8: Particular requirements for shavers, hair clippers and similar appliances	IEC 60335-1:2020 との整合、いくつかの注釈の削除または本文への移行、着脱可能な電源部品に対する要求の追加、クラス III 構造の相互接続コードの要件の明確化、等	反対	着脱可能な電源部品に対する強度試験の荷重として 1350N を提案しているが、これは他の製品規格において、通常動作で、フットペダル操作の際に足で踏むことを意図した荷重であり、本規格の製品では該当しない。偶発的に踏みつけてしまった場合の荷重として、750N を提案する。
61	6511	NP	Household and similar electrical appliances – repair, refurbishment, and remanufacturing of an appliance and subsequent safety testing - General safety requirements	機器の修理や改修、修理後の安全検査、検査データの保管、再利用される部品使用等について規定した技術仕様書	反対	機器の修理や改修は、メーカーもしくはメーカーが指定するサービス業者に限定すべき。修理品が故障して事故被害につながった場合に、責任の所在が問題となる。また、一般的に、ソフトウェア情報は秘匿のため、メーカーから、修理業者に開示することは不可能である。

【他の小委員会に特に連絡したい事項等】

特になし。

【今後の予定(国際会議の予定等)】

2022 年 10 月	サンフランシスコ (アメリカ)	TC59	Plenary
2022 年 10 月	サンフランシスコ (アメリカ)	TC61	Plenary
2022 年 10 月	サンフランシスコ (アメリカ)	TC72	Plenary
未 定		TC116	Plenary

以 上